

高級副官、参謀本部總務部長、憲兵司令官、東京衛戍總隊長、
第一、第十五、第三、第十六師團參謀長、通牒案

皇太子殿下來ル二十二日東京御出發參謀演習旅行
御覽、為茲賀、三重兩縣下、行啓可被為、在者被仰出
候、余御發著割相添此、及通牒候也

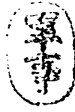
進テ御微行ニ付申添候也

陸軍省
送達

陸軍第一三三八號

四月十九日





皇太子殿下

陸軍省第四八五號

四月十九日

新井 陸軍省第二九號

皇太子殿下 二十二日東京御出發參謀本部參謀演習旅行御覽ノ為メ滋賀三重兩縣下、行啟可被為在旨被仰出候條御發著割相添此段申進候也

明治四十五年四月十九日

東宮大夫男爵波多野敬直

陸軍大臣男爵上原勇作殿

追テ御微行ニ候且三重縣下行啟御發著割ハ追テ御治定ノ事

御發著割

四月廿三日

午前六時二十五分
午後五時五十分

東宮御所 御出門
新橋停車場 御發車
彦根停車場 御著車

御滞留

彦根町

三守以下行啓行多著新へ進了行治也一了

四月廿二日

御發著割

午前六時二十五分

東宮御所 御出門

公 六時五十分

新橋停車場 御發車 臨時汽車

午後五時五十分

彦根停車場 御著車

御滯留

彦根所

三重縣下行存御發著割ハ追テ御治是ノコト

2800

開



房官臣大		課局務主		裁	決	大臣	件	番受
了結	領受	出提	領受					號番
明治 年	明治 年	明治 五年 四月 二十 七日	明治 年 月 日				皇太子 殿下 三重 縣下 行啓 ニ 關ス ル 件	壹 第 四 八 五 號
長局帶聯				主務局長	參事官	次官		廳名 東 宮 職
長課帶聯				主務課長		高級副官		
				主務課員		主計		
者記筆案審								

高級副官^リ第三第十大師團參謀長、電報案

皇太子殿下^明二十八日午前十時、根驛御發車午

後一時十分津御著車同地御滯留ノ筈

陸二一六

四月廿日

宮内省
活係



大臣

宛

發信者

杉秀樹

波野東官太夫

電報譯

四

月廿五日

午前午後

二時

三十分

分發

第五號

四月廿六日


皇太子殿下 来ルニ十八日 考榎御祭
三重縣下ノ行宮ノ御祭着 割左ノ
通御治定アラセラルル 右申進ス

左記

午前十時 考榎驛御奔車、午後一時
十分 津驛御着車 御滞留、津市、


左記

0600 紙用信電軍陸

局 著		局 發		所名人信受	
印 附 日	技 手	付 受 午 前 後	付 受 午 前 後	第	報
		時	時	日	局
		分	分	號	報
<p>ル 4 9 ヨ ハ タ コ ヤ ヒ 0 3 7 9 7 ル シ ゴ コ コ キ 4 1 4 4 = タ 子 ナ イ エ ハ イ ゴ エ エ モ ヨ ゴ ケ ヒ シ キ ヲ ナ シ ヒ テ 一 ゴ 2 ヲ ア 9 ハ カ コ エ 一 ヲ ラ リ ア 子 2 ハ 0 ヲ ヲ 5 4 キ ゴ カ 一 7 エ ズ ラ ヤ キ</p>					定 期 報 三
					事 記
		所名人信發		番 號 第	
		ハ		第	
		タ		五	
		イ		號	
		ア			
		シ			
		タ			
		イ			
		ア			
		シ			








T600

陸軍電信用紙

局 著		局 發				所名人信受	
印 附 日	技 手	受 前 付 後	受 午 付 時	月	第		
		時	時	日	號	局	報
<p style="text-align: center;">270 27 ヤン コウ エ タキ イコ リ 4 ヤ</p>						定 指	
						事 記	
						所名人信發	番 著 號 信
						第	
						號	

2600

關

主務局課大臣官房				裁 決	大 臣	件 名	番 受
了結領受出提領受號番							次 官 委
明治 年	明治 年	明治 四年 五月 四日	明治 年 月 日	主務局長	參事官	皇太子殿下還啓ニ関スル件	壹第四八五號
長 局 帶 聯					高級副官		
長 課 帶 聯				主務課長			東宮職
主務課官					主 計		
着 記 録 案 審					主務副官		
							

高級副官より第三及第十五師團参謀長

電報案

皇太子殿下明五日午前七時四十分津傳車場御
出發御微行ニテ東京ニ還啓アラセラル

(東京衛戍總督部及第一師団司令部、憲兵司令部
ハハ電報ニテ通牒済)

陸二二三

五月四日

0094

(軍部)

永
號
九
五

五月四日

皇
領
第
四
八
五

皇
領
第
四
八
五

皇太子殿下明五日三重縣下津御發
東京還御可被為在旨被仰出候
條御發若割相添此段申進候也

明治四十五年五月四日

東宮大夫男爵波多野敬直

陸軍大臣男爵上原勇作殿

追御微行候事

五月五日

御發著割

午前七時三十分

津御旅館

御出門

全七時四十分

津停車場

御發車

臨時汽車

午後六時三十分

新橋停車場

御著車

還御

9600



五月三日

第一號

電報譯 五月三日 日午前八時四十分着

大臣宛 發信者 第三師團長



皇太子殿下昨日午後五二行
啓アラセテタリ 委細文

陸軍省 第一四八五號

陸軍

4600

陸軍電信用紙

局 著		局 發			所名人信受	
印 附 日	技手	受付午前	受付午後	第	報 局	
		八時五分	三時廿分	三		
レ キ ヲ コ					定 指	
タ ヒ ウ						
リ ヲ コ タ						
イ ウ イ						
サ ケ コ シ					事 記	
イ イ 子						
フ ア ホ						
シ 子 五						
セ 一						
ヲ 二						
						所名人信發
						番 號
						三
						シ
						二
						一
						號

大臣

信

四八五號

老一元

次官

報第一八九號

皇太子殿下步兵第五十一聯隊

行啓ノ件報告

明治四十五年五月八日 第三師團長男爵渡邊

陸軍大臣男爵上原勇作殿

皇太子殿下參謀本部參謀演習旅行 御覽ノ為

三重縣津市ニ御滞留中五月二日步兵第五十一

聯隊、行啓被為在候ニ付當日、次第及報告

候也

一、當日步兵第三十旅團司令部步兵第五十一聯隊

津衛戍病院將校同相當官一同、拝謁ヲ賜ハル

8600

2-8/00
8600

次官

第 八 二 號

五月九日

五月九日

軍務第八二號

皇太子殿下步兵第五十一聯隊
行啓ノ件報告

明治四十五年五月八日 第三師團長男爵渡邊

陸軍大臣男爵上原勇作殿

皇太子殿下參謀本部參謀演習旅行 御覽ノ為

三重縣津市ニ御滞留中五月二日步兵第五十一

聯隊ハ 行啓被為在候ニ付當日ノ次第及報告

候也

一、當日步兵第三十旅團司令部步兵第五十一聯隊

津衛戍病院將校同相當官一同ニ扨謁ヲ賜ハル

ニ御台覽ニ供シタル演習其他

将校撃劍

下士兵卒銃劍術

綱引

椅子取競争

中隊戦闘教練

三殿下ヨリ歩兵第五十一聯隊将校集會所へ金

五十圓下賜セララル

四歩兵第五十一聯隊将校集會所前庭ニ小松ノ

御手植
アラセララル